

実践的で専門的な商業教育を通じ
正しい勤労観や職業観を育てる

「商人とっとり」



企業経営者に提案した企画が 鳥取市内の店舗で実現する

地域社会に活力を与える、スペシャリストを育てる商業高校でありたいと考えます。本校が取り組む起業家育成教育とは、教科書からは学べない、生きた教材を使って生きた学びを体験する実学の場。特に今年度から「スクールプロジェクト推進事業」を立ち上げ、起業家育成教育のますますの充実を図っています。

商業教育に関連づけた体験学習は伝統的に行ってきました。生徒自身による企画立案のもと店舗経営を行う「鳥商デパート」がそれ。主に商業学科3年生の生徒が模擬デパートを開き、仕入れや販売などの商品売買に関わる活動を体験し、地域と交流を図るといふもの。今年度で13回目を迎えた伝統行事で、毎年12月に本校体育館を中心に2日間開かれ、約800人が訪れる規模にまでなりました。これを発展させ、系統化を図ろうと今

年度から始まったのが「商人（あきんど）とっとり」。実践的な体験活動を通してビジネスに必要な知識を身につけるとともに、正しい勤労観を養い将来の進路に役立てるのが目的です。今回、商業科の生徒8人が「課題研究」で商工会議所や企業経営者と連携して、事業プランを企画し提案。それが企業経営者に認められ、既存店舗を改装し再開店するに至りました。6月から事前学習を始め、店舗比較調査や顧客視点の売場視察、起業家の起業動機のヒアリングなどを経て、事業プランを作成。若者に人気のデザートに着目し、顧客の満足度を高める手段として、来店者自身が盛り付けを楽しめるパフェコーナーを実現したのがその流れです。

実社会を考えたとき、役に立つのは机上の知識よりも実践。本来なら授業や進路指導だけで済む話かもしれませんが、社会に有為な人材育成のためにも、本校では次年度以降も実践的な商業教育をいっそう充実させていく考えです。

Selection

46

鳥取県立 鳥取商業 高等学校

School Data

鳥取県鳥取市湖山町北2-401

TEL 0857-28-0156

<http://www.torikyo.ed.jp/torisyo-h/>

●創立 1910年4月

●生徒数 925名

●取組内容 商業教育の実践として「鳥商デパート」を毎年開催。また商工会議所や商店街との連携を図り、空き店舗を活用した高校生の店「seed」を平成14年から3年間開店。その他、国際理解教育にも力を入れ、海外研修旅行を実施している

■コメントは、商業科主任 清水隆之 教諭、
商業科主任 木下重揮 教諭のお二人です